

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	あひろば高木			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日 ～ 令和8年 2月 14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日 ～ 令和8年2月14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・相談があった際に、迅速に対応したことで、家庭でも良い兆候がみられるようになった。	・保護者様から頂いた相談や情報はすぐに職員間の共有に努めています。 ・朝礼やミーティング時に事例について職員間で話し合い、解決策を図っております。	・今後も相談頂いたことや気がかりなことなどについて、保護者様と密接にコミュニケーションを取りながら課題の解決にあたってまいります。
2	様々なプログラム活動やイベントを開催し、利用者様が活動を通じて経験値を高めたり、他児との交流を深めたりすることが出来ている。	・職員間でプログラムミーティングを実施し、様々な意見や利用者様から伺った意見を月ごとの活動に反映させて頂いています。 ・月ごとの担当者を設け、個々の職員のスキルアップを進めたり、多様性のあるプログラム内容に努めたりしています。 ・事業所間で合同でプログラムに関するミーティングを実施し、さらに幅を広げています。	・今後も利用者様が「楽しみ」を持ちながら活動出来るようなプログラムの作成を行ってまいります。
3	利用者が安心感や「楽しみ」をもって活動することが出来ている。	・利用者が積極的に活動に参加出来るような仕掛けや取り組みを実施しています。 ・日常からアスレチック遊具を配置させて頂き、体力や集中力・瞬発力等の向上を図っています。	・今後も活動ごとに狙いや目的を設置しながら、利用者様が意欲的に参加しながら能力の向上を行っていくことができる取り組みを行ってまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	営業時間外に連絡がつきにくいため、欠席・その他連絡事項を伝達しにくい。	・営業時間が9：00～18：00のため、その時間以外の連絡（電話等）を受け付けることが出来ない状況にあります。 （連絡があった履歴を確認し、折り返すことは出来ております。）	・連絡アプリを導入し、保護者が都合のよいタイミングで連絡事項を送信出来るシステムを検討いたします（事業所側が確認出来るタイミングは営業時間内）。 ※ハード面での対応のため、導入までに時間がかかる可能性有り。
2	学習スペースが少ない。	・学習用の個室を2つ設けておりますが、十分に有効活用出来ていなかった可能性がございます。	・より学習室を有効活用するために、児童ごとに時間を区切りながら利用を促したり、より集中して学習に取り組むための創意工夫を考案したりしていきます。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 8 年 4月 1日				
あひろば高木						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			今後も活動に応じた場所の提供や安心して過ごせる環境づくりに取り組んでまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・送迎等で一時的に職員の人数が減る場合等職員が付き添えない時は、個室の使用はしないルールになっています。 ・法令に則り、適切な配置や対応を行っています。	適切な人員配置が出来るよう、今後も職員の配置には留意してまいります。 また、職員育成にも努めてまいります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・室内用ブランコが設置されており、他の活動と場所が被る場合には、必ず職員が付くルールになっています。 ・玄関先やフロア内などが段差のない構造になっておりスムーズな移動が出来ている状態だと感じています。	今後も利用者様が快適に過ごすことが出来る環境づくりに取り組んでまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、時間を決めて全員で清掃にあたっています。	今後もニーズや状況に合わせながら、柔軟な発想で対応を行ってまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		集中する作業をしたい時や、クールダウンしたい時に使用できる部屋があります。	今後もし利用者様の状態や要望に合わせてながら柔軟に対応してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・児童の支援に関する目標について全職員で共有しています。 ・朝礼や昼礼、ミーティング等を通じて課題の共有、解決にあたっています	今後も職員間で意見を出し合いながら、よりよい環境づくりや業務遂行にあたってまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価アンケートの回答を共有し、対応できるものについては、改善するように努めています。HP上で自己評価の結果を公表しております。また、頂いたご意見に対する改善報告も玄関前等に掲示しております。	今後も頂いたご意見などを元に、会社全体で検討し、業務改善にあたってまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・月に一度、職員の意見や共有したい事を出し合うミーティングの機会を設けています。 ・朝礼や昼礼、ミーティング等を通じて課題の共有、解決にあたっています。	今後も職員から出た意見に対して、会社全体で検討し、業務改善にあたってまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・関与する立場にないのでわかりません。 ・現在は行っておりません。 状況やニーズに応じて開催を検討していきます。	今後必要に応じて外部評価についても検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・新人研修の他、虐待防止、一次救命措置等の社内研修が実施されています。 ・新規職員を対象とした新人研修や、定期的な研修が開催されています。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・月ごとのプログラムを作成し、保護者にお渡しし、ウェブサイト（HP上やブログ、インスタグラムなど）で広く公開されております。 また、直接1部ずつ保護者様に手渡ししております。	今後も、利用者様の状況やニーズに合わせた支援プログラムの作成・更新に努めてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者様との面談や、必要に応じて利用者様本人との面談を行い、計画を作成しております。	今後も保護者様や利用者様に対して丁寧な聞き取りを心がけ、計画の作成にあたってまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・事例検討会、支援会議を都度開催しています。 ・支援会議を実施し、職員間で広く情報の共有や意見交換を実施しています。	今後も職員が統一した支援を実施できるよう、協議の場を確実に設けていくとともに、柔軟な発想での対応を心がけてまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員で共有し、個々の目標は、記録の記入時に確認できるようにしています。	今後も職員が統一した支援を実施出来るように、情報の共有等を着実に行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントシートを使用し、利用者様の状況の分析を行っています。また、それをもとに目標の設置や課題の表出を行っています。	今後も明確な成長や変化が分かるようなツールについて創意工夫を行ってまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			・それぞれの目的や意図を把握しながら、利用者様に合わせた支援の設定を行っています。	利用者様や保護者様のニーズや状況を丁寧に分析した上で、それぞれの分野にて望ましい支援について反映させていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・月ごとに、プログラム内容についてのミーティングを開き、全員参加で企画案を出し合います。 ・月ごとの担当職員を中心に、職員間で話し合って立案を行っています。	どの職員にもプログラムの作成担当に携わる機会を設け、発言する力やまとめる力を養ってまいります。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		過去のプログラムと同じテーマのものをする時には、担当者を変えて、新しい考えを取り入れるようにしています。	保護者様・利用者様からの意見も取り入れ、新しい活動の場や内容を模索していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用者様の利用時間等に応じた目標設定や活動の提供を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼、昼礼時に当日のプログラム内容を確認し、手順についても共有します。 ・朝礼や昼礼、ミーティング等を通じて課題の共有、解決にあたっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日の共有ができない場合には、次の日の朝礼・昼礼にて申し送りをしています。	気になった点は些細なことでも共有することを心がけております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録ツールを使用し、利用日ごとに記録の作成を行っています。	職員間でも適切な情報の共有が図れるよう、今後も様々な創意工夫を行ってまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		全職員で対象期間の振り返りを行い、児童の成長や変化について共有しています。	今後も利用者様の成長に合わせて見直し等考えてまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		五領域に沿った計画の作成を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・創作活動では、それぞれの個性が出せるように、複数の選択肢を用意しています。 ・利用様の意思を丁寧にくみ取りながら選択肢を伝えたり、決定までのサポートを行ったりしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員を中心に会議に参加しています。 状況に応じて施設長や児発管が参加しております。	今後も状況に合わせながら、その時の最適者が参画出来るよう努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		小学校の先生を含めて、支援会議を行っています。	今後も状況やニーズに合わせながら対応してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		各学校の状況に合わせて、調整しています	今後も密接に情報共有に努め、利用者様に対してスムーズな対応が出来るように心がけてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		全員ではありませんが、必要に応じてこども園の先生からの情報をいただくことがあります。	今後も状況に応じながら関係機関との情報共有に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて移行支援会議に参加させて頂き、情報の共有に努めています。	必要に応じて、関係機関に対して情報の提供を図ってまいります。最後まで責任ある支援に努めていきたいと思ひます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		複数の事業所を代表して、研修や会議に参加しています。	必要に応じて、個別で助言や研修を受けさせて頂けたらと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在は機会ございません。 状況に応じて機会の実施について検討していきたいと思ひます。	現在は行っておりませんが、状況をみながら開催の検討を実施してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		複数の事業所を代表して、研修や会議に参加しています	今後もテーマや状況を鑑みながら、積極的な参加を心がけてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々の申し送りの際、事業所での様子をお伝えし、また、お家や学校での様子も聞くように努めています。 ・お迎え時や自宅への送り時等の申し送り、または連絡帳などを通じて情報の共有に努めております。	今後も、定期的な面談や申し送り、連絡帳でのやり取りなどを通じて情報交換を図ってまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		具体的な「家族支援プログラム」はございませんが、相談を受けた際は丁寧に傾聴や迅速な解決に努めています。	今後も保護者様のニーズに応じながら、様々な形での支援や情報提供を図ってまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時を中心に説明を実施しております。 また、その後も適切なタイミングで確認をさせて頂いております。	今後も丁寧な説明や迅速な対応を心がけてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用者様や保護者様のニーズを手際にお聴き取りし、計画の作成にあたっております。	今後も利用者様や保護者様のご意見や意思を支援の場に反映させて頂きます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		定期的に個別支援計画の作成・説明を行っております。	今後も個別支援計画の面談の際などに、丁寧な説明を心がけてまいります。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談を受けた際は丁寧な傾聴や迅速な解決に努めています。	保護者様が安心して相談を行うことが出来るような環境づくりにも取り組んでまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	外部会場でのイベントの際には、兄弟も参加してもらえよう、お声がけしています。	現在はありませんが、必要に応じて開催を検討させていただきます。保護者様同士の関わりとは異なりますが、利用者様と一緒に保護者様も参加して頂く活動（合同イベント等）を随時開催させて頂いております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		現場だけでは判断せず、必ず上長に相談の上で対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月のプログラム、ブログ、おたよりなどを通じて活動等の情報の発信をおこなっています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		持ち出し厳禁を周知徹底しています。	今後も頂いた情報に関して細心の注意を払いながら取り扱いさせていただきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障がい特性や状況に合わせた柔軟な対応を心がけています。	特性や状況に合わせた柔軟な対応を心掛けております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		状況をみてイベント等の実施を検討してまいります。	今後も状況に応じて地域住民の方との交流を行う企画などをたててまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		避難訓練の際には、無理のない範囲で保護者様にも協力いただいています。	変更が生じましたら、その都度お伝えさせて頂いております。また、事業所の玄関周辺に掲示するなど、普段からもお手に取りやすいような工夫も今後も行ってまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的な避難訓練等を実施しています。	今後も有事の際にスムーズに誘導や行動が出来るように、普段から防災への意識を高めてまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		職員全員で確認すると同時に、定期的にミーティングの場で共有しています。	今後も、服薬や体調の変化などがあった際は、保護者様と密に連絡を取り合い、対応について協議してまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		直接の指示ではありませんが、保護者様からの情報に基づいて対応しています。	今後も、クッキングや普段のおやつ時などの際は細心の注意を払ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		虐待防止の定期的な研修の実施、ヒヤリハット研修などを通じて（職員の）安全意識向上が図られています。	今後も利用者様が安心して活動出来るような環境づくりに配慮してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ご家族との連携の部分については分かりません。	有事の際に事業所としてどのような対応を行っていくかをより周知してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書、事故報告書等の作成、共有・協議などを行っています。	どのような小さな出来事でも大きな事故を防ぐ手がかかることを伝え、出来事の共有を図り、事例集の作成を行ってまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所毎に、定期的に研修を行っています。	外部研修への参加機会があれば、積極的に参加してまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・研修で、身体拘束について学ぶ機会はありませんでしたが、その他の事項については分かりません。現在、身体拘束の場面が必要な利用者様の事例はございませんが、身体拘束への理解促進は今後も行っていきたいと思います。	やむを得ず身体拘束を行った場合は、保護者へ経緯の説明を実施したり、記録の作成を行うなど適切に対応することを心がけます。